

報道関係者 各位

放送批評懇談会



## 発表！2021年7月度ギャラクシー賞月間賞

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで59年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年を受賞作を決定いたします。2022年6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<https://houkon.jp/galaxy-database/>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

### 放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS



&lt;お問い合わせ先&gt;

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島  
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F  
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510  
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2021年7月度ギャラクシー賞月間賞

**NHKスペシャル 2030 未来への分岐点 (5)「AI戦争 果てなき恐怖」**

7月11日放送 21:00~21:50 日本放送協会

2020年のアゼルバイジャンとアルメニアの紛争は、事実上アゼルバイジャンの勝利に終わり、その背景にはAI兵器の導入があった。また、AIが武力攻撃なくして相手国のインフラなどを破壊する「グレーゾーン戦争」は従来の戦争の概念を覆す。AIの進歩が制御できない戦争へ人類を導いてしまう恐ろしさを突きつけた。

**歴史探偵「戦争とエンターテインメント」**

7月14日放送 22:30~23:15 日本放送協会

エンターテインメントが戦争プロパガンダの有力な武器として利用された史実を、当時の資料や地道なりサーチで探求。厳しい検閲で娯楽は封殺されていたという戦中のイメージを一変するとともに、今日にも通じる「魅了のプロパガンダ」の怖さを描き出した。

**ETV特集「白い灰の記憶～大石又七が歩んだ道～」**

7月24日放送 23:00~24:00 日本放送協会

今年3月に亡くなった大石又七さんはビキニ環礁のアメリカの水爆実験で放射能被害を受けた第五福竜丸の乗組員で、その経験を語り継ぎ、反核・原水爆禁止を訴え続けた。この番組は大石さんの活動を辿りつつ、第五福竜丸の被害以降、核の問題を提起してきたさまざまな取材や番組の蓄積を次の世代に引き継いでいく意図を感じさせた。

**ドラマプレミア23「シェフは名探偵」**

5月31日～8月2日放送 23:06~23:55

テレビ東京 スタジオブルー 「シェフは名探偵」製作委員会

違和感にめざといおせっかいシェフ役で西島秀俊が魅力的。料理の知識が導き出す真実になるほど感があり、一皿から始まる人間模様があざやか。推理ドラマのお約束作りのうまさ、ワンシチュエーションの演劇感、店の4人のチームワークなど、すべての味わいが小一時間の皿で調和。重すぎず軽すぎずの見応えも、月曜の夜に合う。

★詳細は月刊誌「GALAC」2021年10月号に掲載します